

## 紫金山アトラス彗星 C/2023A3

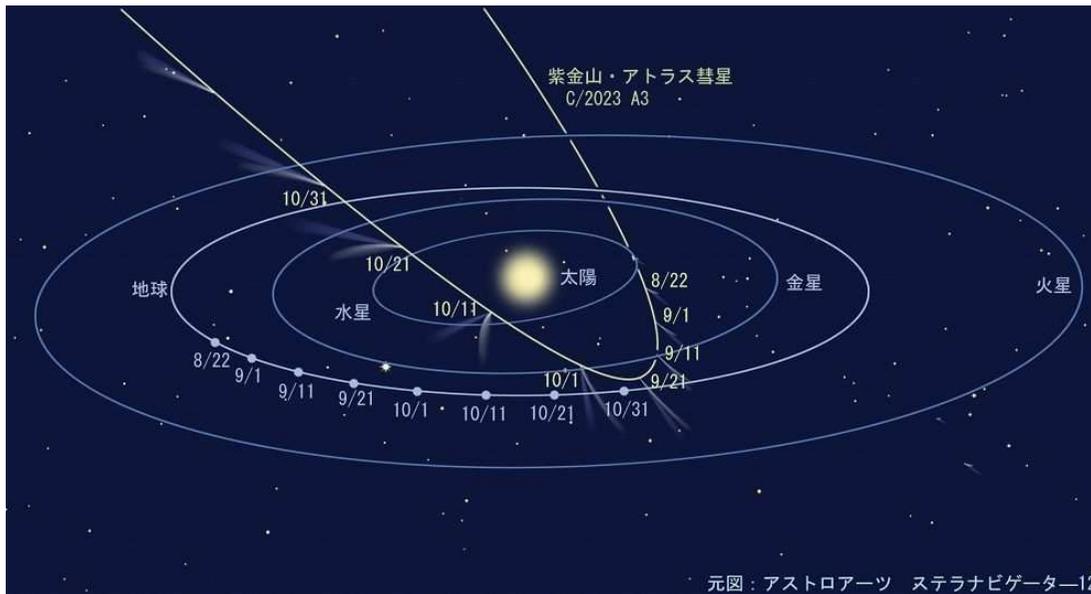
2024.10.16 H.Miyata

徐々に素晴らしい彗星が現われた。2023年1月に発見された紫金山・アトラス彗星だ。発見した天文台からこの名前が付けられた。（国際符号は C/2023A3）太陽の向こう側を回り 10月12日には地球に 7,030 万 Km まで最接近している。13日の観測条件は最高、幸いお天気も味方して日没後の西空低く長い尾を引く彗星の姿を捉えることができた。

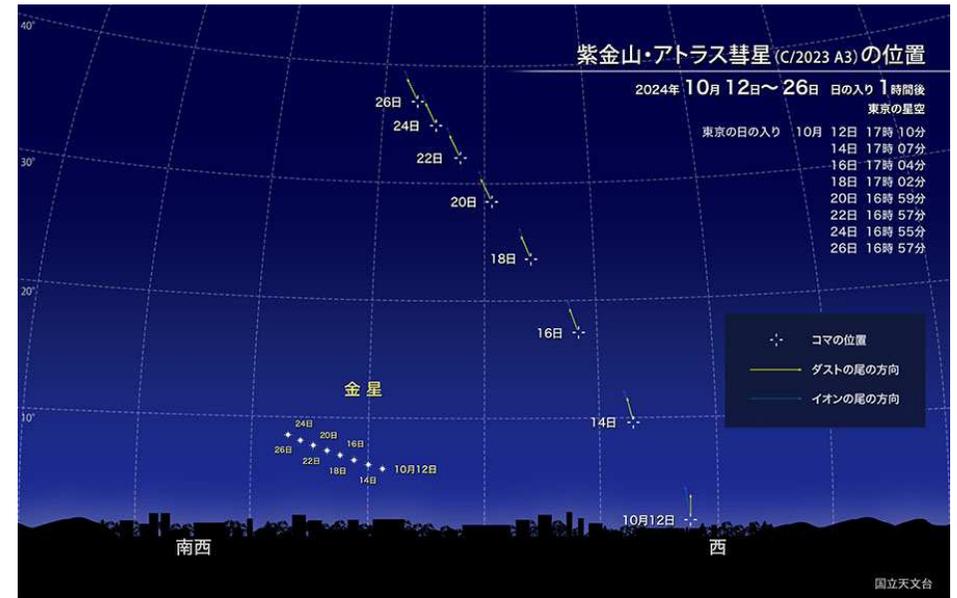


H.Miyata

2023.10.13 18:07 34" D600 NIKKOR28-300mm F44mm f/5 ISO2000 2sec. 撮影地: 栃木県小山市間々田 思川堤



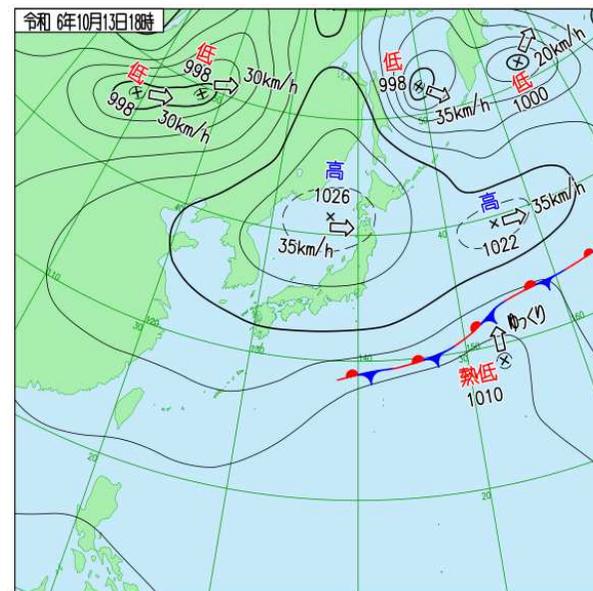
紫金山アトラス彗星の軌道、周期は8万年と推定されている。



彗星が観測できる日時と方角

彗星撮影は時間との戦いだ。撮影地を選んで機材を準備するころは、まだ太陽が西の空に明るく輝いていて、彗星どころか星ひとつも見えない。まずはコンパスを使って赤道儀の向きを調整し、彗星の出現予想図をもとにカメラアングルを決める。やがて日が沈み少しずつ暗くなるが、最初は目が慣れていないこともあって彗星の姿はほとんど見えない。彗星の高度が低いため地平線に沈むまでの約1時間が勝負、徐々に暗くなる中で、機材を操作しながら撮影を続ける。

撮影中にモニターで画像を確認する余裕は殆どなく、これまでの経験を頼りにできる限り多くの枚数を撮る。そのあと家に帰ってからパソコンで各ショットを確認する。うまく撮っていたときの喜びは格別！ この感動があるから天体写真はいくつになってもやめられない。



撮影当日 10/13 の天気図



撮影機材